



TITLE:

細民區兒童教育問題資料

AUTHOR(S):

朝倉, 每人

---

CITATION:

朝倉, 每人. 細民區兒童教育問題資料. 經濟論叢 1919, 8(2): 290-294

ISSUE DATE:

1919-02-01

URL:

<https://doi.org/10.14989/127483>

RIGHT:

## 細民區兒童教育問題資料

朝倉 每人

竊現今都市細民區に於ける細民狀態の狀況は實に社會組織上の一大缺陷を語るものにして社會風教上一日も看過すべからざるものと云ふべく此缺陷より醸成せられたる幾多の罪惡が如何に社會を害毒しつゝあるか如何に彼等子弟の教育及一般兒童の教化上戰慄すべき惡影響を及しつゝあるか其の救済保護の急務たるや識者を待たずして明なり曩に濟世會長の親しく細民區を視察せるあり這般亦內務省救済調査會に於て先づ小住宅改良案の議せらるゝあるは蓋し偶然にあらざるなり願くばこの時宜に適切なる施設の一日も早く實施の運に至らんことを

余は左に比較的整頓せる某社職工社宅區を選び之と横濱市細民區とに於ける兩者學齡兒童教

育狀態の比較を遂げ細民兒童教育上に於て其住居改良問題と如何に密接緊要の關係にあるかを掲載し大方諸賢の批判を乞はんとするものなり

### 一、比較の兩目的地

一、細民區 横濱市淺間町に於ける都市細民區の一劃地

二、改良區 横濱市を距る西北約二十町都筑郡西谷村上星川なる某會社々宅地にして北は八王寺縣道を隔て山を控へ西南帷子川を繞らし西谷村の丘陵(横濱上水道濾過地)を望み土地宏壯山川の眺佳なり

### 二、兩區の總數及學齡兒童

| 區域  | 總戶數    | 學齡兒童數 | 學童數一戸平均 |
|-----|--------|-------|---------|
| 細民區 | 826戸   | 555人  | 0.67    |
| 改良區 | 1,154戸 | 351人  | 0.30    |

我國普通町村に於ける學齡兒童數は平均一戸七分八厘位なり右改良區に於て其低率なるは居住者比較的少壯者多く且つ新世帶者多數なるを以てなり漸次増加すべきは勿論なり

### 三、學齡兒童就學歩合

| 區域  | 學齡兒童數 | 就學兒童數  | 特殊貧民夜學校就學者 | 不就學者 | 就學歩合  |
|-----|-------|--------|------------|------|-------|
| 細民區 | 555人  | 1,256人 | 13人        | 3人   | 46.6% |
| 改良區 | 351人  | 15     | 1          | 100  |       |

細民區に於ける就學兒童歩合の極めて不良なるは父兄の住所一定せず朝夕各所に轉々する浮浪生活の徒多きと父兄其他に教育的觀念乏しく且つ生活難に逐はるゝにも由るなるべし細民區にして父兄が各地に轉々する浮浪的生活が就學兒童數に及ぼす實證として其の學齡兒童の學齡簿に登録せられざる比準は左の如し

| 學齡兒童數 | 市役所學齡簿登錄者數 | 同上未登錄者數 |
|-------|------------|---------|
| 357人  | 27人        | 120人    |

即ち父兄未寄留のため實際學齡に達しながら學齡簿に登録せられざる者は約四割一步の多數を占むるに至るこの未登錄者に對しては強制的に就學を勧誘するの道なく只補充的簡易夜學校に就學せしむるに過ぎざるなり殊に六十二名の全然不就學者に至りては自から不良少年たる運命にあるを惧るゝものなり之に反し改良區にありては居住定著し且つ住宅區域整然として一定の

管理者の下に行き届きたる監督を受くるあり従つて不就學者なく萬一これを發見せらるゝも誘導の宜きを得ると共に父兄一般の教育に對する熱心と相待ちて良好なる結果を收むること偶然ならざるなり猶改良區にありては教育の必要を

鼓吹する機會を多からしめんがため保護者會を設けて毎月一回之を開催し學校と學庭との聯絡を謀ること已に二年餘甚だ良好なる結果を得たり同會開催に際しては同村小學校長父兄及び會社側監督者出席し兒童をも出席せしめ學業の演習をなさしめ父兄を參觀せしむること、せり

#### 四、兩區兒童の學業成績

細民區兒童學業成績に關しては具體的統計數字を以てすること能はざる遺憾あれども概評するときは品行不良成績劣等にして優等者と認むるものなし(稀に成績優等のものあり然れども就學時期後れたる年長者にして相當年齢を過ぎたる者なり)甚しきは低腦兒に屬する者あり其の原因は多々なるべけれど父母監督者の無教育にして教育的觀念なき、父の飲酒癖より來る遺傳

的害毒、生活難より來る營養不良、放縱懶怠の習慣家庭の狀況、勉強不足、缺席多數、學用品供給の不十分等の精神的物質的缺陷に起因するなるべし

改良區兒童に關しては幸に具體的統計數字を以てするを得たり改良區管理西谷村川島尋常高等小學校につき調査したるものによれば

| 年 度  | 生 徒 數 |      | 優等生徒數 |     |
|------|-------|------|-------|-----|
|      | 總數    | 比率   | 總數    | 比率  |
| 大正六年 | 333   | 100% | 57    | 17% |
| 四月現在 | 333   | 100% | 57    | 17% |
| 大正七年 | 333   | 100% | 57    | 17% |
| 四月現在 | 333   | 100% | 57    | 17% |

大正六年四月現在に於ては改良區學童優等生徒數は在校生徒總數に對する其生徒數の割合に及ばざれども七年四月現在に至りては優等生徒數増加し生徒總數に對し改良區生徒の數約五分の一にして優等者は約三分の一を占むるに至り一般生徒に比し改良區兒童の成績佳良なるを見るべし大正六年四月現在生徒の比較的不良なるは其當時の在住者が移住日尙淺く(同改良區は大正五年四月竣成)従つて學齡兒童も他校よりの

轉校者多く其出席率の減退等の特殊原因によればなり七年四月末には在住定著者増加し如上の原因を軽減したるを以て順次成績の向上したるを見る併し該區設置以來日尙淺く未だ所謂社宅氣風（一枝に於ける校風）なるもの、兒童間に想見するを得るに足らざれども父兄は皆工業に従事し家庭教育に注意するの點は一般農家の比にあらず兒童にありてはしまりたる所あれども又輕學の傾あり農家兒童は暢達せる氣分あれどもしまりなく遲鈍の嫌あり従つて改良區兒童の常として初學者は農村のそれに比して動作敏活なれども學級の進むに従ひ農家兒童の遲鈍なれども漸次進級と共に成績進歩するの度に比して稍遜色あり要するに該改良區漸次年月を閱し農家の純朴なる氣風と融合同化せんか理想的穩健著實の氣風を生じ完全なる理想境を見るに至らんと信ず之を以て前者細民區兒童に比すれば雲泥の差にて論するの價值なし如何に勞働者の住居の安定と否らざるとによりて兒童教育上至大なる影響を及ぼすかを見る可し。

## 社會政策學會大會

社會政策學會第十二回大會は舊臘二十一、二兩日に涉つて東京早稻田大學に於て開かれた。今回の討議問題は『女子勞働問題』であつた。例に依り第一日に於ては會員間に於ける研究報告及び討議のみ行はれ、第二日には公開の講演會が催された。報告者は河田嗣郎、阿部秀助、森戸辰男の三氏であつたが、河田氏は總論として一般的に女子勞働問題の理論的方面を、阿部氏は歐米諸國に於ける女子勞働問題を、森戸氏は我國に於けるそれを、各分擔された。問題が恰も時の必要に應じ又一般の興味が勞働問題に向つて來て居ることとて、報告も討議も熱心に又興味を以て行はれた。第二日の講演も聽衆堂に滿ち講演者は何れも抱負を傾注すると謂つたやうな有様で、近來の盛會であつた。

女子勞働問題といはず汎く婦人問題は今や内外の重大問題の一たるを失はざるに至り、然かも歐米諸國に於ては其の運動は着實効を擧ぐ

るの域に進みて、北米合衆國に於て婦人參政權の認められたる諸洲の漸次増加し來れると同時に、英國に在りては一般的に婦人參政權の授與さるゝを見るに至つた。從て今や婦人問題は先覺者の間に叫ばれる、覺醒的主張たるに止らずして、實地政策に觸れ來れる活きたる問題たるに至つた。理論の問題よりして實行の問題に入り來つた。而して彼の女子勞働問題なるものに至つては、それが一面に於て況き意味の婦人問題中に含まるゝと同時に、他面に於ては一般勞働問題中に含まるゝものであつて、其の意義や實に二重の重要さを有するものである。既に一般的に之を觀たる婦人職業問題が婦人問題中に在りても最も根柢ある又最も眞剣なる問題なるに於て、女子勞働問題なるものに至りては、之を婦人の職業に關する問題として見ても、彼の獨立なる自由職業と異りて更に一層深刻なる問題である。且又女子勞働問題はそれが一般勞働問題中の一分岐として一般勞働問題と運命を共にし、共に一日も早く其の解決を見んと欲し、若くは又着々其の解決の道を辿り行かんとするものな

れば、所謂婦人問題中に在りて、此の女子勞働問題ばかり意義の深長なるものはない。

我國に在りては未だ一般的に婦人問題が歐米諸國に於けるほど切迫の問題とはなつて居らぬが、併し女子の勞働問題に至りては、我國現下の工場勞働者中女工數は遙かに男工の數よりも多き事實よりしても、又女工の勞働上に於ける境遇が頗る劣惡なる事實よりしても、婦人問題として又勞働問題として差當り先づ攷究せらる可きものたるや否み難き所である。我國に在りては未だ一般的に勞働者間に於ける自助運動の見るに足るものなく、從て問題は主として社會政策上の國家施設の問題が講究せられつゝある次第だが、男子勞働者間には漸くにして自助運動の表はれ來らんとする氣運を示すに至つた。女子勞働者間には尙ほ暫くは之を見ることが出來ぬであらう。從て問題は尙ほ暫くは其の保護の爲めにする國家施設の問題が重要である。吾人は社會政策學會の此方面に關する研究が繼續的に更に大に行はれんことを希望せざるを得ない。